

製品名: GnRH-R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11567**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	GNRHR
別名	GNRHR; GRHR; Gonadotropin-releasing hormone receptor; GnRH receptor; GnRH-R
遺伝子 ID	2798.0
SwissProt ID	P30968
免疫原	抗血清はヒト GNRHR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

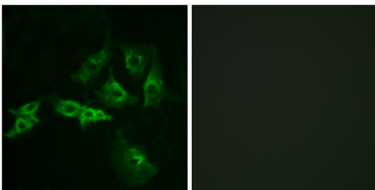
この遺伝子は、1型ゴナドトロピン放出ホルモン受容体をコードします。この受容体は、7回膜貫通型のGタンパク質共役受容体(GPCR)ファミリーに属し、下垂体ゴナドトロピン産生細胞、リンパ球、乳房、卵巣、前立腺の表面に発現しています。ゴナドトロ

ピン放出ホルモンが結合すると、この受容体はホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質と結合します。この受容体の活性化は、最終的にゴナドトロピン性黄体形成ホルモン (LH) と卵胞刺激ホルモン (FSH) の放出を引き起こします。この遺伝子の欠陥は、低ゴナドトロピン性性腺機能低下症 (HH) の原因となります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。この遺伝子には、5'領域に 18 以上の転写開始部位、および 3'領域に複数のポリ A シグナルが同定されています。疾患: GNRHR の欠陥は、肥沃な宦官症候群 (Fertile Eunuch syndrome) の原因です [MIM:228300]。肥沃な宦官症候群は、正常な精巣の大きさと同程度の精子形成を伴う、HH の軽度の表現型です。疾患: GNRHR の欠陥は、特発性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症 (IHH) の原因です [MIM:146110]。IHH は、下垂体からの卵胞刺激ホルモンおよび黄体形成ホルモンの分泌不全として定義され、思春期成熟および生殖機能の障害を引き起こします。機能: ゴナドトロピン放出ホルモン (GnRH) の受容体。GnRH はゴナドトロピン放出ホルモン (LH および FSH) の分泌を刺激する GnRH の作用を媒介します。この受容体は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質と結合することで作用を媒介します。アイソフォーム 2 は GnRH-R シグナル伝達の阻害剤として作用する可能性があります。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性: 下垂体、卵巣、精巣、乳房、前立腺。肝臓および脾臓には存在しません。

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;GnRH;

画像データ



GNRHR 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。